



2006年（平成18年）7月18日
 発行：鎌ヶ谷市国際交流協会
 〒273-0195 鎌ヶ谷市初富928-744
 TEL 047-445-1141（内550）
 FAX 047-441-9400
 http://www.kifa.gr.jp

「会員を増やし、市民への認知を推進」 酒井哲郎会長体制が発足

酒井新会長体制がスタート——2002年度から2期4年の任期を務めた岡本靖子会長が退任。5月28日開かれた総会において新役員を選出が行われ、岡本会長から「2006年度理事及び監事名簿（案）」の提案があり、これを了承。ただちに臨時理事会を開き互選の結果、新会長に酒井哲郎、副会長に長南勇、平田真裕美、会計に高橋修司、定本典子の各氏を新執行部に選出、理事、監事、顧問の就任を議長より発議、拍手で承認、可決した。

●顧問に田澤進二郎氏、岡本靖子前会長

なお、臨時理事会の席上、上記の二人に顧問就任の提案があり、承認された。

（2・3面に総会記事）



新役員の方々。(左から) 会計・定本さん、副会長・平田さん、会長・酒井さん、副会長・長南さん、会計・高橋さん。

酒井哲郎新会長あいさつ

20周年記念事業へ 一役担っていききたい



私は国際交流協会に入って5年あまりです、新鮮な気持ち

でがんばり、来年設立20周年を迎えるKIFA活動の一役を担っていききたい。

この総会討議においても、いろいろ指摘されておりますように、KIFA・鎌ヶ谷市国際交流協会がいまひとつ、市民に名前が知られていないということ。これは私自身もずっと感じていたことでもあります。これを解決するにはどうしたらいいのか、ご提案いただいておりますように、理事団体との交流とか、お互いに助け合える共通の分野はないか、といったことから取り組んでいきたい。

次に外国人住民に対する交流、参加が少ないことについては、自治会との情報交換も必要ではないか、私自身も自治会役員をやっておりますので、そういうところから交流の機会を探り、外国人会員を増やし、多くの市民に認知していただける工夫をしながら、期待される組織にして行きたいと思っています。

2006年度鎌ヶ谷市国際交流協会役員名簿

役職	氏名	所属団体
会長(理事)	酒井 哲郎	個人会員
副会長(理事)	長南 勇	個人会員
副会長(理事)	平田真裕美	個人会員
会計(理事)	高橋 修司	鎌ヶ谷市商工会
会計(理事)	定本 典子	個人会員
理事	竹内 好子	鎌ヶ谷市体育協会
理事	平田真貴子	鎌ヶ谷市スカウト連絡協議会
理事	細井 和美	鎌ヶ谷市子ども会育成会連絡協議会
理事	川井 四郎	鎌ヶ谷市芸術文化協会
理事	野口 光行	鎌ヶ谷市自治会連合協議会
理事	佐藤 宗之	鎌ヶ谷青年会議所
理事	中島 立也	鎌ヶ谷ロータリークラブ
理事	太田 侑子	鎌ヶ谷国際文化交流会
理事	工藤 秀丸	千葉県立鎌ヶ谷西高等学校校長
理事	渡辺 正	千葉県立鎌ヶ谷高等学校校長
理事	杉田 良夫	鎌ヶ谷市小中学校長会(第二中校長)
理事	杉山 巖	鎌ヶ谷市助役
理事	寺島 正方	鎌ヶ谷市教育委員会委員長
理事	川西 八郎	鎌ヶ谷市教育委員会 教育長
理事	久野 義春	鎌ヶ谷市役所 市長公室長
監事	茂野 昭	法人会員
監事	一色 雅男	鎌ヶ谷ライオンズクラブ
顧問	田澤進二郎	元KIFA会長
顧問	岡本 靖子	前KIFA会長
	研修部会長	波多野勝夫 個人会員
	交流部会長	鈴木 浩 個人会員
	広報委員長	林 幸治 個人会員

事務局長 海老原正博 市企画政策課長
 担当職員 大田 彩子 市企画政策課

事務局員 寺坂 敬子
 事務局員 湯川 和子

鎌ヶ谷市国際交流協会 2006年度総会開く 若い力の事業参加を一層展開しよう

5月28日(日)、午前10時から鎌ヶ谷市総合福祉保健センター6階の大会議室において、2006年度「鎌ヶ谷市国際交流協会(KIFA)総会」が開催された。

冒頭、岡本靖子会長があいさつ。「当協会も来年は設立20周年を迎える。ワカタネとの姉妹都市交流も10周年の節目になる。それはKIFAにとっても大事なことだ」として、06年度事業計画の中に「KIFA設立20周年記念事業準備委員会」の設置を盛り込むことを明らかにした。また、05年度は青少年の事業への参加が多く見られた年だった。その若い力の流れが06年度の事業計画の中にも現れてきているとし、一層の若い世代の参加を促す事業展開を強調した。一方課題として、外国人の参加が多くないことについて、個人情報保護という現実もあるが、外国人の方々には、「鎌ヶ谷に住んでよかった」との思いをもって帰国してもらえようようにお手伝いすることが、KIFAの役目だという考えを示した。

さらに、「今年役員改選期となっている。後ほど理事会を開き提案説明をするのでよろしくお願ひしたい。全議案についても十分にご討議していただき承認されるようお願ひしたい」と述べた。



挨拶する岡本会長

会員数増へ知恵を集める

続いて議案審議は、KIFA事務局長で市の企画政策課長・海老原正博氏の司会により、田澤進一郎・前会長を議長に選出し議事に入った。1号議案「2005年度事業報告」について、各部会事業、ボランティア活動、派遣、参加、後援事業の担当責任者が内容・成果を詳細に報告。2号議案「2005年度収入支出決算並びに特別会計収入支出決算及び監査報告」について会計より、各事業の予算・収入、支出を説明。監査報告を確認し、1、2号議案とも拍手で承認し、可決した。



祝辞を述べる清水聖土市長

さらに3号議案「2006年度事業計画(案)」、4号議案「2006年度収入支出予算(案)並びに特別会計収入支出予算(案)」について、担当責任者から事業計画の詳細について説明があり(3面の「KIFA2006年度事業計画」を参照)、これを承認、可決した。

最後に5号議案「鎌ヶ谷市国際交流協会役員選出」については、別項(1面の役員名簿)の通り、酒井哲郎会長はじめ新役員について、理事会報告の通り承認、可決した。常設の3部会長、委員長は留任となっている。

来賓・清水聖土市長が祝辞

来賓の清水聖土市長から「成田新高速鉄道が4年後の開通を目指して準備が進められている。これが開通すると成田空港から電車に乗って最初の乗換駅が新鎌ヶ谷駅となり、鎌ヶ谷は大変便利な国際空港の表玄関となる。国際的にも利便性の高い街になる。外国の技術者とか事業の人が、市内にたくさん定住する国際色のある街となる。そうするとKIFAの方々活躍していただく場が大いに増えることになる。また、9月22日からワカタネの市長が来ることになっている。KIFAの方に大変なお世話になると思うが、どうかよろしくお願ひしたい」と、市の将来展望を含めた祝辞をいただいた。

◆新執行部の皆さんの一口メッセージ

副会長(再任)長南勇さん：前期に引き続き副会長をさせていただくことになりました。副会長はどちらかと言えば、縁の下の力持ち的存在であり、会長を補佐することが任務と考えております。酒井会長とは過去2年間、執行部で一緒に仕事をしましたので、気心も知れており、円滑に事業を進めていけるものと考えております。創立20周年を目前にして、鋭意努力していきたいと思っておりますので、皆様のご協力よろしくお願ひ申し上げます。

副会長(新任)平田真裕美さん：これまで研修部員として語学講座、スマイリー・キッズ(子ども英会話)、パクン・マクンのイベントなどに関わってきました。スマイリー・キッズの子どもたちが目を輝かせ、習ったばかりの英語を使って、外国人とコミュニケーションする姿や、お手伝いの高中生・大学生が子どもたちに感謝されて喜んでいた姿は、担当者として何よりもうれしいものでした。今年度は執行部の一員として、これまで以上に青少年や子育ての方々にもKIFAに参加していただけるよう、頑張っていきたいと思っております。

会計(新任)高橋修司さん：会員の皆様ありがとうございます。今年も若い会員が増えております。これからの長い人生に小さい思い出を作ってみませんか！私も若いふりをしておりますが、けっこう年がたってます。でも、皆さんの楽しそうな顔が見たくて、いつもカメラを持って参加しておりますので、よろしくお願ひします。

会計(新任)定本典子さん：会員の皆様からお預かりした会費を有意義に活用できますよう、皆様のご協力を仰ぎながら精一杯努めたいと思っております。また、世代を超えて多くの方々に参加したくなるような、魅力あふれる企画・活動のお手伝いが出ればと考えております。

2006年度 KIFA法人会員・団体会員の紹介

〈法人会員〉

学校法人 一色学園
那須設計工務(株)
(有)岡田産業
鎌ヶ谷造園土木(株)
東葛食品(株)
皆川不動産(有)
(株)永井建設
茂野製麺(株)
新和設備(株)
(株)千葉銀行鎌ヶ谷支店
(株)鎌ヶ谷梨ワインブランデー
(株)アメリカンランゲージスクール鎌ヶ谷校

〈団体会員〉

県立鎌ヶ谷西高等学校
鎌ヶ谷青年会議所
鎌ヶ谷市自治会連合協議会
鎌ヶ谷市庭園業組合
鎌ヶ谷ライオンズクラブ
鎌ヶ谷市商工会
鎌ヶ谷市小中学校長会
鎌ヶ谷市体育協会
鎌ヶ谷市スカウト連絡協議会
鎌ヶ谷ロータリークラブ

各議案に対する主な質疑・応答は次の通り

◆会員数の減少対策、若者の参加、ホームページ活用などについて会員から質問があった。執行部からは、それぞれ可能なことから手を尽くし努力を続けている、若者の参加も昨年以來かなり成果が出ている、さらに会員数の減少対策に知恵を絞っていききたい、との答弁がなされた。

なお5月28日現在の会員は254人。
 ◆関連団体との共同事業については、協力できる部分は共同していきたい。将来的には太いパイプに組織的にも変わっていく可能性もある。また、法人団体との連携もできることから進めていきたい、とした。
 ◆総会資料の事前・全会員配布については、費用などの問題もあり今後検討していきたい。

KIFA 2006年度事業計画

5月28日のKIFA総会で、以下の2006年度事業計画が承認、可決されました。詳細は随時、会員の皆さんにお知らせします。またホームページにおいても実施内容等をお知らせします。積極的なご参加を要望します。

1、在住外国人との交流

- ・お花見&バーベキュー
- ・バスツアー
- ・外国家庭料理講習
- ・KIFAパーティー

2、語学研修講座の開催

- ・外国語講座
 英語2／中国語／ハンゲルの4講座、年27回
 語学研修講座開講式・閉講式
 スマイリー・キッズ（子ども英会話）
 英会話サロン
- ・日本語講座
 日本語 1講座、年間40回
 日本語ボランティア・レベルアップ講習会

日本語ボランティア養成講座Ⅱ 10回
 特別学習会
 近隣市町・日本語ボランティアネットワーク

3、講演会・イベントの開催

4、会報の発行

- ・「KIFA Plaza」年2回発行（7月、3月）
- ・「KIFAかわら版」年2回発行（9、12月）

5、KIFAホームページ事業

6、海外交流事業

- ・姉妹都市との交流（成人、青少年ロングステイ派遣など）

7、ホームステイ・ホームビジットの受け入れ（随時）

8、通訳ボランティア活動の促進

- ・研修会、要望により通訳・翻訳をする

9、ボランティア講師派遣事業

- ・日本語講師学校派遣・外国人ボランティア講師派遣

10、市民夏祭り事業参加

11、国際交流に関する諸団体との連携・協力事業

12、KIFA設立20周年記念事業準備

13、東葛地区国際交流協会連絡協議会および都市との交流

受講生84人がスタート!

KIFA2006年度 語学講座



左から、アリシア先生、范曉耘先生、ジェシー先生、イ先生。

講座名	会場	曜日・時間	講師	受講生数
英語 A	東初富公民館	木・13:00~14:30	ジェシー・ナイカネン	22
英語 B	くぬぎ山コミュニティセンター	火・19:30~21:00	アリシア・ブランド	24
中国語	南部公民館	金・10:00~11:30	范曉耘	17
ハンゲル	中央公民館	水・13:00~14:30	イ・ヒョンジュン	21

「今日の開講式にも、何人かの教え子の顔があり、うれしいです。昨年から講師をしています、今年も教えることになり光栄です」（英語A／ジェシー・ナイカネンさん）

「万が一、授業で退屈させるようなことがあっていいけません。私なりにベストを尽くします」（英語B／アリシア・ブランドさん）

「日本で中国語の講師をして6年になります。いつもドキドキ緊張していますが、教えていて楽しいです。日本のことも好きになりました」（中国語／范曉耘さん）

「昨年の10回から今年は29回になり、喜んでます。責任も重大です。楽しくみなさんと一緒に学んでいきたいと思ひます」（ハンゲル／イ・ヒョンジュンさん）

5月28日、午後2時から2006年度KIFA語学講座開講式が開催された。英語A・B、中国語、ハンゲルの4人の講師たちは今年の受講生を前にして、左記のようなメッセージを送ってくれた。これまで長年実施していたスペイン語は今年には行わず、代わって昨年は半年の講座で好評だったハンゲルが年間講座となった。

オリエンテーションで自己紹介

式の後半は各講座ごとに分かれ、オリエンテーションが行われ、自己紹介やゲームでさっそく授業が始まった。84人の受講生は「外国語を学ぶ楽しさ」をまずは覚え、いずれは「外国語をしゃべる喜び」を味わうために、決意も新たに学習のスタートを切った。

心の豊かさとゆとりある生活が素敵だった——ニュージーランドの姉妹都市ワカタネの一般家庭にホームステイ、市民レベルの交流で異文化・生活体験をするKIFA主催のツアー「ワカタネ成人派遣」(5月10日～16日)に14人が参加しました。この特集企画は、それぞれ収穫を得て帰ってきた参加者のツアー体験記です。今後の交流推進の参考になるレポートです。ぜひ、ご一読を!



けん玉遊びに子供たちの目は輝く



トライデント高校の教室で一緒に記念



鼻と鼻をつけるあいさつ(ハング)で歓迎

ワカタネ訪問記

子供たちとの交流を中心に

今回はワカタネの子供たちとの交流に重点をおき、必要な材料や道具を用意して行った。

アパヌイ小学校訪問ではマオリの歌と踊りと、鼻と鼻をくっつけるあいさつで歓迎された。交流会では、日本から持参した折り紙、けん玉、ベーゴマ、紙芝居をやって、子供たちに大変喜ばれた。

トライデント高校訪問では日本語指導と小グループのフリートーキングを行った。もっと時間が欲しいくらいに、話が続いた。

コリン・ホームズ市長による夕食会に全員が招待され、お土産に持参した梨ワインは「甘い」と辛口のコメントされた。みなそれぞれ新しい出会いと思い出を作ったようだ。

9月には市長初め何人かのホストファミリーの方々が来ることになっている。私たちは、再会をわくわくしながら待っている(団長・副会長・酒井哲郎)

人情も自然も美しく

ワカタネの魅力は自然が美しく、人情も細やかということでしょう。家は平屋が普通で緑が多く、広々していて清潔感に満ちている。ワカタネ川が海に注ぎ、きれいな砂浜が続いている。近くには「トイの足跡」と呼ばれる変化に富んだハイキングコースがあり、コース途中からの眺めは見飽きることがない。こんな環境で暮らす町の人たちの表情は穏やかで、ゆったりした生活を送っている。ステイ先のご夫婦も仲睦まじくうらやましい限りだ。(副会長・長南勇)

素敵なワカタネ

KIFA「成人派遣」文化交流・ホームステイ体験リ

成田から10時間半のフライトの後、ニュージーランド最大の都市オークランドに到着。さらにバスで4時間、途中でレストランに寄ったのでワカタネに到着したのは5月11日の夕方だった。一行14人、コリン・ホームズ市長自らの出迎えがあり、その後、ホストファミリーを紹介されホームステイ先に直行した。

◎学校訪問、日本の遊びが大好評

ワカタネ2日目は、まずアパヌイ小学校を訪問、マオリの民族衣装を着た子供たちに歌と踊りの歓迎を受ける。子供たちは約90人、HANGI(鼻と鼻をくっつけるあいさつ)とKIAORA(HALLO)とマオリの言葉で歓迎のあいさつ、印象的な歓迎セレモニーに感動、うれしくなる。

その後、子供たちに伝統的な日本の子供の遊びを紹介。折り紙グループ、紙芝居&ティーセ

レモニーグループ、けん玉などの3グループに分かれ、それぞれ30分ずつ、それぞれに楽しんでもらった。

子供たちはけん玉やけん玉くいけば大喝采の拍手。のナレーションで上演、場面場面で大歓声。紙のカブト作りが大好評

◎高校生と日本語で

次にトライデント高校日本語4クラスがあり、日本語の授業を実施した。日本語の授業の1人が分かりやすく、日本語を日本人から直接習うことができた。生徒たちも熱心に授業を受け、私たちが2人ずつに別

大人気の折り紙遊びで



みなさん、ありがとう

私は今回初めて交流ツアーに参加したが、ニュージーランドの人たちの暖かさに触れることができてとてもよい経験になった。

アパヌイ小学校では、まず歓迎式典で感動させられた。真剣な表情で歌や踊りを披露し、私たちが歓迎してくれた小学生たち。一緒にカブ

ト作りをした素直な子供たち。トライデント高校で、私の拙い日本語で授業を受けた高校生たち。また、私たちが心からホストファミリー。観望してくれていたガイドの依子さんになりました。ありがとうございました。礼を言いたいと思いま



撮影

歓迎式典で歌うアパスイ小の子供たち

見事な日本庭園の前で

ネ ありがとう

ポート (交流部 辰巳澄夫)

ん玉、竹とんぼ、コマな
し、子供たちもグループ
それぞれのグループを回っ

竹とんぼにトライ、上手
紙芝居は桃太郎を英語
桃太郎が鬼を退治する
声で声援。折り紙も新聞
平だった。

フリートーク

校に移動、この高校には
2クラスで日本語のレ
日本語の使い方など、メン
しく紹介、ナマの日本語
ことは初めての経験で、
を受けていた。

別れ、数人の生徒たちと



共たち。トライデント高
レッスンに、真剣に取り
ら。
らもてなしてくださった
光の際に、親身に世話を
子さん。本当にお世話に
うございます。心からお
す。(研修部・遠藤尚子)

フリートークをする時間をもったが、時間
が足りないほどの熱中授業になった。

最後の自由質問では“日本人は考えるとき日
本語で考えているのですか？”という質問があ
り、英語を習うとき、いつもその疑問があるわ
れわれには、大変興味深く面白く感じた。

この後、鎌ケ谷市の庭園業組合が寄贈したと
いう日本庭園を見学に行った。現地資材だけで
作ったという、石庭風の作りで見事に日本庭園
の雰囲気が出ていた。数年ごとに、庭園業組合
の人がボランティアでメンテナンスに行ってい
るとか、友好姉妹都市らしい、素晴らしい国
際貢献だと感心した。

◎鎌ケ谷びいきが集まった歓迎の宴

その夜は、姉妹都市委員会招待のレセプション
があり、市長はじめ40人を超える市民が出席。
鎌ケ谷に行ったことのある人、この9月に来る
人たちで、鎌ケ谷に関心のある人が中心でもあ
り、また多少の日本語が出来る人も多く、和や
かで楽しい交歓会だった。

日本に来たことのある人に「どこが一番良か
ったか」と聞くと、鎌ケ谷がNo.1との返事。お
世辞があるにしろ鎌ケ谷にはあまり自慢でき
るような施設や史跡もなく多分、ホームステイ先
のあたたかいもてなしが強い印象を与えたので
はと推察できる。

◎ホストは乳牛500頭の酪農家

私(辰巳)のホストファミリーはアランとメ
アリーの家、太平洋に面した広大な邸宅。とて
もフレンドリーで心から歓待してくれた。ア
ランは500頭の乳牛を持つ酪農家、メアリーはワ
カタネの市場開発部長。ステイ3日目はアラン
の牧場を見学した。広い牧場にのんびり牛が草
を食む風景は別世界だった。

ワカタネは気候温暖で一年中牧草が成長し、
酪農に最適な土地とのこと、裏山には老後の年

金代わりにと松を植樹、ぼちぼち伐採の時期だ
とか、日本に輸出したいが心当たりはないかと
の質問も。(誰か知り合いはいませんか)?

4日目。私とメアリーはゴルフ、両サイドに
太平洋と入江が望めるリンクス風の本格的コース、
フラットな場所がほとんどなく、プレーに
は苦戦した。私のプレー代は30ドル、貸しゴル
フクラブ代が28ドルだった。メアリーは年会費
400ドル程度払い込めば、後は何回プレーして
も無料だという。

◎ハイキング、釣り…豊かな自然の中で

同じステイ仲間はアランと周辺の山16キロの
トレッキングに出かけた。静かな森林、珍しい
野鳥や野草、素晴らしい眺望が望める山頂など
豊かな自然を満喫して大満足だったという。

他のホームステイ先でも牧場とハイキングに
行った方が多かった。釣りを楽しんだ人も。サ
バ、アジなど面白いように釣れ、ボート上でお
刺身にして食べ、満足した人もいたようだ。

変わったところではステイ先の人と一緒に教
会に行き、牧師の説教を聴いたり、洗礼の儀式
を見たのが大変印象に残ったという人もいた。

4日間、毎日が英語の世界、皆さんかなり語
学力がアップした様子も伺えた。

朝食はシリアルおよびパンにマヌカハニーを
たっぷり塗って食べた。マヌカハニーはニュ
ージーランド特産の蜂蜜、殺菌効果が強く常食す
れば胃のピロリ菌もいなくなるという優れたもの、
ホストのメアリーがスーパーに連れてってくれ
たので、沢山お土産に買ってきた。ランチはパ
ンか外食、夕食には特別調達したという自慢の
柔らかいステーキやローストビーフが出た。

◎姉妹都市関係は根づいている

一方、観光も楽しみたいという人たちは、2
日間のホームステイの後、ロトルアを見学、最
高40分もスチームを吹き上げる間欠泉やマオリ
工芸村、羊の毛刈りショーを見学、さらにマオ
リショーが見られるディナーを楽しみ、翌日は
ワイトモの鍾乳洞で神秘的の光を放つ土ボタルを
見学、この間にショッピングやゴルフを楽しむ
人もおられ大変、盛り沢山なスケジュールをエ
ンジョイされたようだ。

4日間ホームステイした人が10人、2日間の
ホームステイ後、観光に行かれた人が4人、最
終日の昼、ロトルアのホテルで全員合流、皆さ
ん楽しかった様子で、事故もなくすべて順調な
姉妹都市・ワカタネツアーだった。

鎌ケ谷に親しみを感ずる市民も多く、9年間
の姉妹都市関係はしっかり根づいているようだ。
都市化した鎌ケ谷とは何の共通点も見出せない
が、こんな素晴らしいワカタネと姉妹都市関係
にあるということは大変うれしい発見だった。

私は生粋のロンドンっ子

だから
パイとマッシュポテトが好き



ジェームズ・チェネリーさん
(James Chenery)



ポー教会の鐘

「私は1978年8月にロンドンで生まれました。子どものころは、ハリーポッターで有名になったセント・パンクラス駅近くのアパートに住んでいました」

チェネリーさんは、今年2月に初めて開催された「KIFA英会話サロン」にパネリストとして参加、イギリスの食生活事情についてスピーチし、好評を博した。現在は鎌ヶ谷市のALT（語学補助教員）である。

「私もそうですが、ロンドンのポー教会の鐘が聞こえるエリア内に生まれ育った者は、生粋の“ロンドンっ子”の意味で、Cockneys（コックニーズ）と呼ばれます。ここでの伝統的食べ物はうなぎパイとマッシュポテト。私もパイが大好物です」

スラング

「コックニーズには独特のスラングがあります。その代表的な例をいくつか紹介しましょう。これを使いこなせば、あなたも即席のロンドンっ子になれるですね」

（例①）チャイナプレート（略チャイナ）＝友だち

「ハローチャイナ」は「ハローフレンド」の意味。

（例②）リンゴと梨＝床 「私はリンゴに倒れた」は「私は床に倒れた」の意味になります。

（例③）トラブル＝妻 「トラブルはご機嫌いかがですか」は「奥さんはご機嫌いかがですか」の意味です。

「どうですか、面白いでしょう。しかし、私が16歳のとき、家族はロンドンから北アイルランドに移住しました。家族は両親と私、弟、妹の5人です」



ロンドン郊外20マイルにあるインゲイトストーンホール。チェネリーさんが5歳から15歳まで、この近くに住んでいた。

インゲイトストーンホールの全貌

アニメ専攻

「北アイルランドは、1週間に1便のバスが来るような田舎でした。不便だけれど、自然に恵まれていた。わが家からアイルランドの国境まで自転車10分の距離でした。国境にはフェンスもマークもないので簡単に越境できましたね」

大学はティーサイド大学に進学し、コンピュータ・アニメを専攻した。卒業後、大学院でバーチャル・リアリティを学び、マスターを取得した。そのころ、チェネリーさんは日本に強い憧れを抱くようになる。

「学生時代に日本びいきの先生に日本の話をあれこれ聞いて、ぜひ行ってみたいと思いました。就職先のアニメ制作会社を辞めて、3年前に初来日しました」

「大学の専攻でお分かりのように、私は日本のアニメや映画にも大変興味を持っていました。宮崎駿監督のアニメは本当に素晴らしい。〈千と千尋の神隠し〉や〈風の谷のナウシカ〉など、ほとんどの作品を見ました。また〈七人の侍〉など黒澤明監督の映画も多く見えています。黒澤作品は外国では特に人気があり、後にルーカスやコッポラなどの映画監督に影響を与えています。そんな芸術的風土のある日本に絶対来たかった」

居心地

「2年前から鎌ヶ谷市でALTの仕事をしています。現在は、鎌ヶ谷中と北部小で子どもたちに英語を教えています。教室ではよく質問を受けますが、ちょっとパターン化しているかな。たとえば〈好きな彼女いますか？好きな食べ物は何か？納豆は嫌いですか？〉などです」

彼女の有無はともかく、食べ物についてはチェネリーさんは、こう答える。

「納豆とウニはノーサンキューだけど、日本食は寿司、天ぷら、刺し身などなんでも好きですね。それに日本では食べたいものがすぐ食べられるのがいいですね。日曜日は閉店状態のイギリスに比べて、こちらのコンビニやスーパーは24時間営業していて、便利です」

憧れだった日本は、すごく居心地がいいようだ。最後に、「将来の夢」を聞いてみると……。

「私は日本の今の生活に満足しているので、特に希望はありません。このまま日本にいて、子どもたちに英語を教えていきたいですね」

若い力を結集、青少年国際交流の牽引者

7月30日(日)貝柄山公園で
ウォークラリー&
ランチパーティーを開催

KIFAの青少年国際交流の行事として行われる、このパーティーは例年とは大きく異なる特徴があります。それは、中学生・高校生など、学生ボランティアが企画運営の中心スタッフになっていることです。

イベント内容は、公園内を数人で班をつくり、いくつかのチェックポイントを回るラリー、昼はランチパーティー、午後は各国の人々がいろいろなゲームや遊びを紹介しながら楽しむなど、盛り沢山です。

当日は11時スタート。参加費は小学生以下は500円、中学生以上は1000円。青少年の皆さんの積極的なご参加をお願いします。申し込みと問い合わせはKIFA事務局まで。

小西克典くん (中佐津間在住)
大学1年
ボランティアスピリット賞

全国賞を受賞

若々しい発想とたくましい行動力で活躍するボランティアが、KIFAにも台頭してきた。その代表格が左記の「ウォークラリー&ランチパーティー」のスタッフ30人のリーダー格の小西克典くん(18)。

彼は2005年度「ボランティアスピリット賞」を受賞した。この賞はアメリカの保険会社主催による、ボランティア活動に取り組む全国の青少年(12~18歳)を対象に、2500人の応募者の中から、10人の全国賞

に選ばれる栄誉に輝いた。受賞は、彼の居住地域の北部公民館の主催の子供会の活動が対象。その活動内容レポートが認められたのだ。

小西くんは、KIFAの活動に参加する意義と役割をこう語る。

「KIFAには若い年代が少ない。若者の目線で、日本のよさと世界のよさを互いに伝えたい。それも、自分たちが楽しみながら事業をやっていければいい。ほくは、人間が大好きなんです」



KIFA「子ども英会話」

15回講座スタート

人気のキッズ英会話「レッツ！トライ！」— 子ども英会話「スマイリーキッズ」が6月3日(土)、まなびプラザ3階教室で始まった。



元気な小学生20人(1・2年クラス/3・4年クラス)がそれぞれ教室に集合、講師の増田千佳先生の元気な英語であいさつ！マイ・ネーム・イズ〇〇。会話練習を兼ねた自己紹介から始まった。

はじめはビックリしていた子どもたちも、すぐに慣れて、笑い声も聞こえるようになり、教室内は熱気に包まれ、

付き添いのお母さんたちも笑顔でうなづく。

それぞれ英語でグッバイのあいさつ。ハッピーバースデーの大合唱で1日目のレッスンは終了。

11月4日(土)までの15回、外国人講師による特別授業も2回予定されていることから、講座の終わる頃にはどこまで英語が身に付いているのかも楽しみだ。幼児・小学生の英語教育については、教育界でも諸説あるが、幼い頃から外国語に親しむことで、国際交流活動を身近なものを感じる成人になることを期待したいものだ。

「青少年ワカタネ・ロングステイ」

4人の高校生が出発

姉妹都市のニュージーランド・ワカタネの家庭に滞在し、高校に通学するKIFA「青少年海外生活体験」派遣に今年は4人の高校生が参加。7月28日出発する。帰国は8月24日の予定。

◎在住外国人への日本語講座始まる

KIFA日本語ボランティアによる、06年度の日本語講座が4月11日から始まっている。毎週火曜日の夜、中央公民館3階の学習室には日本語を習いたい10数人の外国人が通ってくる。

昨年同様、7時30分から実施している教室には、学習者を手助けする日本語ボランティア(登録者26人)が毎週、交替で駆けつけ、日本語も全く出来ない外国人たちに、粘り強く、分かりやすく、正しい日本語が使えるように地道な努力を続けている。

「日本語を学びたい外国人を、いつでも受け入れています。国籍を問いませんので、市民の皆様のお知り合い

のご紹介をお待ちします」と遠藤尚子代表は話す。

◎「日本語ボランティア講師の養成講座Ⅱ」

日本語ボランティア講師の養成講座Ⅱ(中央公民館、学習室2で土曜日の午後2時から、5月20日~7月29日までの全10回)が開かれている。昨年5月に行われた養成講座Ⅰと同様、講師は松本明子先生。「日本語で正しい日本語を教える方法」を学ぶ受講者は42人(他市から5人)。このうち何人かは日本語ボランティアとして実践の場に参加してくれるでしょう。

「定員30人で募集したのですが、熱心な受講希望者が多く、定員を増やして開講しました」(遠藤代表話)

胡弓とチェロの響き

We did it

お花見バーベキュー

KIFA初の試み、昼休みロビー・コンサートを市役所1階ホールで開催

鎌ヶ谷市の市役所1階の市民ホールで3月30日の昼休み、胡弓とチェロの演奏会が開かれた。

演奏者は胡弓が棚田貴佳子さん（写真左）、「少年時代」、「見上げてごらん夜の星を」、「恋舞」の3曲。チェロの大沢有希子さん（同右）は、「G線上のアリア」、「無伴奏チェロ組曲第一番」よりプレリュード、「アヴェ・マリア」を演奏。昼休みの市民ホールにひととき、情感豊かなメロディーとクラシックな調べが響いた。



市民との交流、サービスとPRを兼ねて開いたもので、KIFAとしても初めての試みであった。昼休みとあってワイシャツ姿の市職員の姿も多く、訪れていた市民に聞くと「こういうのも交流の形なんですね、しばしい気持ちにさせてもらいました」と好評であった。



KIFA春の恒例行事「お花見&バーベキュー」が4月9日、貝柄山公園で開かれた。11時過ぎには風も止み、落花の風情の下、コンロの炭も赤々と準備OK。

踊りとゲームで国際交流の集い

それぞれ持参の肉、野菜、魚を鉄板にならべた。初めて桜を見て日本の伝統行事に参加した外国人たちと来場者たちとの輪がいくつも出来上った。

相手の国別に関係なく、なんともいえない独特の英語で話しかけるおじさんもある。参加者合計は60人余り、そのうち外国人は19人。

宴が最高潮になったところで、日本伝統舞踊・炭坑節の調べが鳴り響き、踊りの輪が出来た。続いてゲーム。グランド・ゴルフに挑戦。参加希望者の行列も出来た。参加賞も出て好評のうちに、お花見会は終了した。

KIFA会員の皆様へ 部会活動ボランティアを募集しています

KIFAの日常活動・事業は右の表にあるように、交流、研修、広報の3部門で行われています。

すべてボランティアで企画し運営しています。今後のKIFA活動がより充実していくために、ボランティアとして参加していただく会員の、部会加入を募集しております。関心と興味のある方は事務局にお申し出下さい。

KIFA事務局は市役所の3階にあります。

*電話：047-445-1141（内線550）

*FAX：047-441-9400

*Eメール：office@kifa.gr.jp

*URL：http://www.kifa.gr.jp

なお、KIFA会員の加入も受け付けております。

部会名	主な事業	活動日程
交流部会	在住の外国人、市民らとの交流のための行事企画や運営実施	定例会議は第1日曜の午前。事業は土日がほとんど。平日の打合せもある
研修部会	語学研修講座の開催、講演会などの企画。日本語ボランティア	定例会議は平日の昼間が多い。日本語ボランティアは火曜日の夜7時から
広報委員会	広報紙「KIFA plaza」の発行、ホームページの編集・作成	編集会議は平日の昼間が多い。行事・事業の取材は土日になることが多い。

編集後記

ロシア人はアネクドート、日本風に言えば小噺が大好きだという。圧政下のソ連時代、彼ら人民大衆はヒソヒソと囁き、日ごろのうっぷんを晴らした。直接、ロシア人に聞いたことがある。「ある人がアネクドート大会で見事にナンバーワンになった。優勝のご褒美は収容所送りだった」と。

こんなことを思い出したのも、ロシア語同時通訳者で作家の米原万理さんが56歳の若さで逝去されたからだ。KIFAでは、2002年12月に米原さんをお招きして、「ロシア人に学ぶ小噺の作り方」をテーマに講演していただいた。そのお話にはユーモアとパロディ精神があふれ、それに加えて人間に対する温かい批評眼があった。米原さんのご冥福をお祈りします。

さて、KIFAも今期から岡本体制から酒井体制に執行部がバトンタッチした。

岡本靖子さん、4年間の会長職、ご苦労さまでした。新執行部は来年のKIFA設立20周年を迎えるにあたり、現在の組織・事業の両面で問題点があれば真摯に検証し、「成人後」の新しいKIFA像を創造していくことが望まれる。

最後、広報委員会からのお願い。私たちは「KIFA plaza」の編集作業に全力投球する一方、KIFAホームページの作成にも情熱を注いでいる。「はやい、たのしい、わかりやすい」をモットーにして、誰にも開かれたHPをめざしている。乞う、ご期待！そして、率直なご意見、ご批評もよろしく！（K・H）